

## 基準C 地域連携

### ＜Cの視点＞

#### 特色ある地域連携活動

- ①教育を通じた、地域連携・地域貢献活動
- ②地域共創センターの教学マネジメントへの関与

#### (1) Cの自己判定

基準項目Cを満たしている。

#### (2) Cの自己判定の理由（事実の説明および自己評価）

##### C - ① 教育を通じた、地域連携・地域貢献活動

###### 【事実の説明】

地域共創センターは、その役割・機能について内外の認識・評価を高め、本学が組織的に地域に貢献できる体制を促進することをその目的としている。これまで、高い能力を持った人材を地域に送り出すとともに、生涯学習環境の整備や、様々な地域課題の解決に向けて大学の知的資源を活用した地域貢献を実現してきた。特に、地元自治体である浜松市との関係は重視をしており、地域連携・地域貢献活動を実施してきた。中でも、特徴的な取り組みを示したい。

平成23年4月1日に「浜松市と大学との連携事業」に関する協定を締結し、以来、「浜松市と大学との連携事業」を実施している。当事業は、浜松市生涯学習推進大綱に示された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」の取組として、協働センター等生涯学習施設で行われている講座開催を大学生が提供することにより、市民と大学生が互いに自己の学びを深めるとともに、浜松市と大学が連携・協力して生涯学習の取組を一層推進することを目指した事業である。講座は、大学の授業の一環としてカリキュラムに取り入れられる、全国でも先進的な取組である。平成28年度で6年目になるこの事業は、これまでに36講座3,334名の受講があった。地域共創センターが、地域と大学・学生の学びを繋げ、地域の人材育成に貢献をしている取り組みである。

平成25年6月24日には、「浜松市と大学との『ユニバーサルデザイン紙芝居上演事業』に関する協定」を締結した。地域共創センターと市が協働で、市内の放課後児童会の子どもたちにユニバーサルデザインへの理解を深めてもらうため、紙芝居を通じて「心のユニバーサルデザイン」を涵養することを目的とした事業である。平成25年度からの3年間で91児童会へ訪問し、2,815名の子どもたちに向けて上演を行った。当事業は地域共創センターの地域貢献事業であり、かつ学生にとっても教育実習とは違う現場の雰囲気を感じながら実演のできる、貴重な学びの場となっている。

これらの地域連携・地域貢献活動の実績をもとに、平成27年1月8日、本学は浜松市に呼びかけをして、「浜松市と浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部との相互協力及び連携に関する協定」を締結した。協定は浜松学院大学の強みである、時代と地域が求める人材の創出に関すること、子育て支援に関すること、多文化共生に関することなどを柱としており、大学の地域連携窓口である地域共創センターが、大学と自

治体とを結び付けて協定締結に至った成果である。

【資料C - ① - 1】 【資料C - ① - 2】 【資料C - ① - 3】

### **C - ② 地域共創センターの教学マネジメントへの関与**

平成27年度に文部科学省に採択をされた「大学教育再生加速プログラム」では、学内実施体制において、地域連携窓口の役割を果たしている。長期学外学修プログラム「北遠フィールドスタディ」では、浜松市の中山間地域振興と多文化共生に焦点をあてた事業に取り組んでおり、浜松市からは職員を講師として招き中山間地域政策の説明をしていただいたり、土地・建物の無償貸し付けを受けたりするなど、大学の事業を支えることに繋がった。

平成27年10月14日には、産学連携・地域活性化・地域産業支援を目的として浜松商工会議所と「浜松学院大学と浜松商工会議所との相互協力及び連携に関する協定」締結をした。同年から始めた「長期企業内留学」の留学企業先の斡旋の協力をいただき、3名が約1ヶ月の長期企業内留学に臨んだ。

【資料C - ② - 1】 【資料C - ② - 2】

### **[基準Cの自己評価]**

浜松学院大学は教育理念として、「責任ある自己実現と社会貢献の人づくり」を掲げ、地域に信頼される教育を築いている。この教育理念を実現し、地域と大学とを繋ぐ窓口が「地域共創センター」であり、2009年の開設以来、地域連携の機能を果たしてきたと自己評価する。主たる成果は、地域共創センターの活動実績に基づき、平成27年に浜松市・浜松商工会議所との包括連携協定を締結でき、大学教育に繋げることができたことである。地域共創センターの活動を通じて、自治体や教育委員会との連携が深まり、学生達の学びのフィールドが広がり、本学の教育に果たした成果は大きいと自己評価する。

### **(3) Cの改善・向上方策（将来計画）**

浜松学院大学では地域社会と連携して、一人一人の学生が能動的な学びを継続して行い、深い学びを積み上げることが可能となっている。地域共創センターでは、これを支える「地域の輪」を更に広げるべく、近隣自治体との連携や積極的に取り組んでいく。また、地域共創学科と連携をした産学官連携を実施していく。そして本事業等を通して、学生たちは主体的に「地域を知り、地域課題を理解し、今後地域に貢献できる人材となる」プログラムに参加し、学修を深めていく。

### **[エビデンス集（資料編）]**

【資料C - ① - 1】 平成27年度浜松市と大学との連携事業講座概要と実績

【資料C - ① - 2】 「ユニバーサルデザイン紙芝居上演事業」について（協力依頼）

【資料C - ① - 3】 浜松市と浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部との相互協力及び連携に関する協定書

【資料C - ② - 1】 浜松市との土地・建物無償貸付契約書

【資料 C - ② - 2】 浜松学院大学と浜松商工会議所との相互協力及び連携に関する協定書